学校番号	1205

令和8年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	音楽Ⅰ　Tutti＋　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●音楽の学習は主体的（自分から求めて動く）に行ってほしいと思います。そして自分自身を表現できることの楽しさや、音楽に対する豊かな感性を身につけましょう。
●1年間を通じて「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」のそれぞれの分野を学習します。芸術音楽だけでなく、幅広くポピュラー音楽等も取り入れます。
●評価は、出席及び取り組み状況・ワークシート等の状況・実技テストで行います。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。
【知識及び技能】
音楽の多様性について理解を深めることができ、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら表現意図を持ち、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。【知識】 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。【技能】	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	高校音楽のスタート	【歌唱】 校歌 「君に届くまで」 「少年時代」 他	a:【知】様々な表現形態による歌唱表見の特徴を理解している。 【技】曲にふさわしい発声とことばの発音で歌えている。 b:親しみやすい歌や校歌のリズム、旋律を知覚し、自己のイメージをもってのびのびと歌おうとしている。 c:一定以上の声量で主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	指使いの基本を学ぼう	【器楽】 鍵盤楽器 「メリーさんのひつじ」 「ちょうちょう」 ・メロディーの演奏 ・コード学習(C,G) ・アレンジを加えて演奏	a:【知】リズムとメロディー・和音について知り、それらの関わり合いについて理解を深めている。 【技】 適切な指使いと創意工夫を生かした伴奏アレンジで楽曲を演奏している。 b:メロディー及び2つのコード(C・G)の和音の響きを感受し、適切な指使いで弾こうとしている。 c:主体的・協働的に鍵盤楽器演奏の学習に取り組もうとしている。	実技発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	物語と音楽との関わりに注目しよう	【鑑賞】総合芸術における音楽の魅力 ・オペラ ・バレエ ・歌舞伎 ・映画音楽 「Sound of Music」 ・ゲーム音楽 ・ベートーベンとピアノの歴史　他	a:【知】さまざまな総合芸術の文化や特徴、結びつきについて理解を深めている。 b:あらゆる総合芸術について名称を知り、鑑賞や調べ学習を通じて自己の考えをまとめようとしている。 c:主体的・協働的に総合芸術学習に取り組もうとしている。	ワークシート	ワーク シート	観察

二学期	クラスの歌声を響かせよう	【歌唱】 「優しいあの子」 「涙そうそう」 「故郷」(二声部唱) 他	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 【技】お互いのパートを意識して二声部唱の響きを感受しながら表現している。 b:楽曲のテクスチュアを知覚し歌詞のイメージを大切にして歌おうとしている。 c:二声部唱活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	音色を工夫してリズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】【創作】 ・いろいろなリズム楽器について ・輪唱(カノン)について ・グループでリズムを創作 ・輪唱(カノン)形式でアンサンブル演奏	a:【知】リズム楽器の形、素材、音色、奏法の特性を理解してリズムを創作している。 【技】リズム楽器のあらゆる特性を活かして正確なリズムでアンサンブル(カノン演奏)を行っている。 b:リズムを積極的に考えて自己の考えをまとめようとしている。 c:色々なリズム楽器演奏を主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 創作発表	創作 進捗 状況 ワーク シート	観察
	音楽の雰囲気を味わおう	【器楽】【鑑賞】 「Scarborough Fair」 【創作】 ・ドリア旋法でメロディー作り	a:【知】あらゆる音階の文化的・歴史的背景について理解している。 【技】①ドリア旋法の響きを感受しながらScarborough Fairを鍵盤楽器で弾いている。②教会旋法の一定の規則に従って鑑賞・創作し、創意工夫を生かして表現している。 b:ドリア旋法の構造や響きを感受し、聴き覚えのある共通の響きをもった楽曲を言い当てようとしている。 c: あらゆる音階に興味関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 創作発表	創作 進捗 状況 ワーク シート	観察

三学期	外国の歌を歌おう	【歌唱】 「Danny boy」 「Caro mio ben」 「モーリーホア（まつりか）」 「アリラン」 他	a:【知】楽曲と文化的・歴史的背景との関わりや言語の特性を理解している。 【技】曲にふさわしい発声及び言語の特性を生かして歌っている。 b:世界のあらゆる国や地域の音楽の特徴を感受し、それらを意識して歌おうとしている。また、自身の知る世界の楽曲について積極的に意見を述べようとしている。 c:世界のあらゆる国や地域の歌唱に主体的・協働的に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	和楽器に親しみ演奏に挑戦しよう	【器楽】 箏 ・箏の扱い方及び姿勢 ・各部位の名称 及び各弦の呼び方 ・調弦法と奏法 ・練習曲 「さくらさくら」 【鑑賞】 ・箏曲 「さくら変想曲」 ・その他の和楽器	a:【知】箏や和楽器の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 【技】箏の表現形態の特徴を生かして演奏している。 b:箏の基本奏法に慣れ、より良い音色を鳴らすためにはどうすれば良いのか模索しながら繰り返し演奏している。 c:箏や和楽器の学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	ワークシート 実技発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	世界の様々な音楽の魅力を知ろう	【鑑賞】アジアの 様々な音楽 ・＜箏＞と＜カヤグム＞の比較鑑賞 ・楽器の五分類による比較 ・ポスター制作	a:【知】箏とカヤグムの構造や文化的・歴史的背景との関わりについて知り、映像や実際の演奏を通じて、共通点や相違点について理解を深めている。 【技】五分類から1種類、一つの楽器を選択し調べ、ポスターにまとめて発表している。 b:の音色の違いがどこから起こるのか、映像を含めての鑑賞を通じて知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c:箏とカヤグムの音色や奏法に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート ポスター	進捗 状況	観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度